

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 幽門側胃切除後の尾側脾切除の安全性に関する検討 -国内多施設共同研究-』
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院
研究責任者 消化器センター外科 職位・氏名 准教授・大塚由一郎

【研究の目的】

幽門側胃切除の既往のある方で、脾体尾部切除術が必要になる場合があります。その際、脾切除に伴って残胃の血流が低下するため、残胃炎や残胃潰瘍、胃内容停滞、胃穿孔などの術後合併症を生じることが知られています。しかしこのような術後合併症の発症に影響を及ぼす原因はこれまで明らかになっていません。そこで、日本脾切研究会が主導し島根大学医学部消化器・総合外科学を研究代表施設とする多施設共同研究が計画されました。東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科では、本研究の趣旨・目的に賛同し、共同研究に参加することとしました。本研究により、脾体尾部切除術が残胃に虚血をもたらす要因を明らかにし、今後より安全な周術期管理および外科療法の改善が期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者：幽門側胃切除術を受けたことがあり、かつ 2009 年 1 月～2019 年 12 月の間に東邦大学医療センター大森病院消化器センター外科において尾側脾切除術を受けた方
方 法：当院診療録（カルテ）から下記データを抽出し、そのデータを研究代表施設である島根大学医学部消化器・総合外科学に送付します。その後、島根大学で各参加施設のデータが統合され、解析されます。

【研究に用いられる試料・情報】

- ・年齢や性別、身長、体重など
- ・血液生化学検査（白血球数、赤血球数、腫瘍マーカーなど）
- ・画像所見（CT、MRI、内視鏡、PET-CT、超音波検査）
- ・臨床経過（バイタルサイン、飲水・食事開始日、術後合併症など）
- ・脾切除術式
- ・病理組織所見

【外部への試料・情報の提供】

上記のように診療録閲覧により得られた当院の情報を、あなたの個人情報が分からないように研究代表施設である島根大学に送付します。

【研究組織】

この研究は島根大学医学部消化器・総合外科学講座が主体となり、全国の日本脾切研究会参加施設と共同で研究を行います。

代表施設名：島根大学医学部消化器・総合外科学

研究代表医師：田島義証 役職：教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器センター外科

職位・氏名 准教授・大塚由一郎

電話 03-3762-4151 内線 6530